

継続可能な
インパクトを
生み出そう

2026-2027

No.1846

2026.10.8

会長：石坂一男 幹事：小林信広
会員数：51(内4名特別会員) 会場出席：29 欠席：22
出席率：60.42% 前回出席率：100%
点鐘：石坂一男 会長 司会：吉住正史 副S A A
ロータリーソング：奉仕の理想・沼田中央ロータリーの歌(ソングリーダー：関美津男)
例会場：沼田健康ランド 12:30～

ロータリーを語ろう
2.0+

ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2840地区

竹中 隆 ガバナー (高崎北RC)

齋藤清海 第5分区ガバナー補佐 (渋川RC)

櫻井正晴 代表地区幹事、飯島岳史 地区副幹事 (安中RC)



会長の時間

石坂一男 会長



皆さん、こんにちは。10月には国際ロータリーが定める『地域社会の経済発展月間』です。経済発展を身近な視点から捉え直し、ロータリーの役割を分かりやすく伝える事が大切です。

構想

- ・地域社会の経済発展は、遠くの地域への大規模支援だけでなく、身近な地域での人材育成や就労支援も含まれる。
- ・高校生への職業講話は、若い世代が地域の仕事や働く人を知り、将来を考える機会となる。
- ・地域の企業、学校、行政などが連携し、学びと働く機会を広げる事が重要である。
- ・ロータリーは多様な職業人の集まりとして、人と人をつなぐ場を提供できる。
- ・地域の新たな可能性を見つけるためには、地域で暮らし、働き、学ぶ人たちの声を聞く事が大事である。
- ・「何をしてあげられるか」ではなく、「一緒に何ができるか」という視点で地域づくりを進める事が大切である。

構築

- ・「職業講話」という具体例から始まり、地域経済発展という大きなテーマへとつなげていく。
- ・「ロータリーを開く」という理念が分かりやすく表現されている。
- ・支援する側、される側という構図ではなく、地域の人々との協働を重視して行動していく。
- ・最後に「この10月、私たちの身近にある活動を見つめ直し」と多くの方へ呼びかけ、対話により行動につながりやすくなる。

地域社会の経済発展とは、人づくりとつながりづくりを通じて、地域の未来を共に創る事であると思います。





- ①新潟万代RCとの交流会・中学生野球大会・渋川でのIMの出欠表を回覧させていただきます。記入をお願いします。
- ②地区よりRYLA研修会の案内が届いています。詳細はメールで送らせて頂きます。
- ③例会後、クラブ協議会が開催されます。皆様、ご参加下さい。

スマイルBOX報告

関美津男 委員



竹中 隆ガバナー

(公式訪問にあたり御祝を頂きました)

齋藤 清海ガバナー補佐

沼田中央RCの皆さん、本日は宜しくお願い致します。

石坂 一男・小林 信広

- ①国際ロータリー第2840地区、竹中隆ガバナーはじめ、

齋藤清海ガバナー補佐、櫻井正晴代表地区幹事、飯島岳吏地区副幹事、ようこそお出で下さいました。

- ②(石坂) 妻の誕生日にきれいなお花を頂き有難うございました。

生方 彰

本日は2840地区 竹中隆ガバナーの公式訪問を記念致します。竹中隆ガバナー、齋藤清海ガバナー補佐、櫻井正晴地区代表幹事、飯島岳吏地区副幹事のご来訪に心から感謝申し上げます。竹中隆ガバナーには二年連続でお務め頂くことに敬意を表し、心から重ねて感謝申し上げます。

小曾根 一雄

- ①竹中ガバナーをお迎えして大変光栄に存じます。

- ②沼田中央RCに在籍出来て大変誇らしく思っております。山田晃さんの40周年記念事業への特別寄付、北野浩司郎さんの昨年度末の特別寄付、生方彰さんは皆さんが改善したかった放送設備への思い。全て当クラブを思う気持ちの表れと思っております。素晴らしいクラブと改めて実感しました。

古池 好幸

妻の誕生日に素敵な花をありがとうございます。慌てて本山さんの店でケーキを買い、忘れていないアピールが出来ました。おかげで我が家に平和な時が流れております。

富井 潤

誕生日に素敵なお花をありがとうございます。温かいお心遣いに感謝致します。

連名(松井千恵子・原澤ふじ子・本山佳宏・中西徳弥・高橋和朗・武井正男・金井利夫・宮田美行・植村仁・金井康二・関美津男・赤井幸夫・高橋昭紀・茂木清七・武井順一・吉住正史・日下謙人・堤浩恵・小澤博之・永井郁・山田晃・石田宇平・富井潤・林秀彦)

竹中隆ガバナー、齋藤清海ガバナー補佐、櫻井正晴代表地区幹事、飯島岳吏地区副幹事の御来訪を感謝申し上げます。

ガバナースピーチ



二年目のガバナーとして、これまでを大切にしながら、これから必要なものを加える。変えるためではなく、未来へつなげるために。

人びとが手を取り合って、持続可能な良い変化を生み出す。世界で地域社会で、そして私たち自身の中で。

ロータリーを開く。人に開く、クラブを開く、地域に開く、未来に開く、自分自身の心を開く。

同じクラブは一つも無い。歴史が違う、地域が違う、会員が違う。だから、クラブの姿も違っていい。

会員のためのクラブ、そして地域に必要とされるクラブへ。

入会はゴールではない、ロータリーとの関係の始まり。

「入ってよかった」「ここにいたい」と思えるクラブへ。

人生の柱は一つではない。仕事、家庭、地域、趣味、社会活動、ロータリーもその一つへ。

ロータリーが人生のすべてではない。しかし、人生を豊かにする。大切な柱にできる。

『ロータリーを語ろう 2.0+』 活動を説明するだけではない。自分のロータリーを語る。そして、行動で伝える。語る→共感→信頼→つながる→一緒に動く

一年をつなぐものから、未来をつなぐものへ。私たちはどんなクラブでありたいのか。何をしたいだけではなく、何が変わったか。奉仕からインパクトへ。

関わる、つながる、一緒に動く。そこからロータリーは始まる。

「ここにいたい」と思える経験を積み重ねること。会員が「ここにいたい」と思えるクラブは、外から見ても「ここに入りたい」クラブになる。

新しい仲間がクラブを開く。新しい視点、新しいつながりからクラブの可能性が広がる。

平和とは、争いがないことだけではない。理解、対話、信頼。会いに行く、話を聞く、語り合う。そこから気づきが生まれる。



2026-2027年度 国際ロータリー第2840地区

歓迎

竹中 隆 ガバナー公式訪問

2026.10.8 沼田中央ロータリークラブ

クラブ協議会



クラブ会員組織強化委員会
高橋和朗委員長



山田晃クラブファシリテーター



クラブ管理運営委員会
中西徳弥委員



クラブ管理運営委員会
日下謙人委員



茂木清七直前会長



長期戦略委員会
赤井幸夫委員長